

第 40 回土木計画学研究発表会(秋大会) : 2009 年 11 月 21 日~23 日 (金沢大学)

セッション討議内容の記録

	<p>セッション名 : 交通安全 (高齢者)</p>
	<p>日時場所 : 11月21日(土) 15:00~16:30 第7会場</p>
	<p>司会者 : 三谷哲雄 (流通科学大学)</p>
<p>討 議 内 容</p>	<p>セッション全体 : 全体での討議はありませんでした。</p>
	<p>(100) 青野貞康 (慶應義塾大学先導研究センター) : 『電動車いす接近時の歩行者の危険回避行動に関する基礎的研究』</p> <p><u>論文概要</u> 自動運転の「電動車いす」に対する歩行者の危険感知や回避行動の把握を目的。</p> <p><u>討議概要</u> 歩行者の被験者が停止しているが、これは現実空間における相対速度を想定した実験なのか？ その場合、相対速度で評価して良いのか？ =&gt; 今後の課題としたい。 被験者属性は？ 特に年齢(高齢者か？) =&gt; 高齢者では無い。今後の課題としたい。 慣れの影響はないのか？ =&gt; 目新しいのであると思われる。今後の課題としたい。 車両の種類による影響は無いのか？ =&gt; 比較的大きな車両のため考えられる。今後の課題としたい。 成果の今後の応用方向性 =&gt; サービスレベル評価, 道路空間再配分, 規制速度の検討などを想定している。 著者の考える対象車両の通行位置は？ (歩道？車道？) =&gt; 歩道は注意を要する。 自動運転の電動車いすの乗員の挙動によって緊張感に差が出るのか？ そのとき自動運転の情報を知っていたのか？ とすれば自動運転だから緊張したのか？ =&gt; 知っていた。運転者の有無により異なる。</p>
	<p>(101) 孔慶玥 (徳島大学) : 『地方都市における高齢者の交通死亡事故調査データに基づく交通安全行動の診断と改善方法』</p> <p><u>論文概要</u> 過去の現地調査の蓄積情報から見た実態分析および要因検討に基づく行動改善対策の検討</p> <p><u>討議概要</u> 既存研究との関係性(新規性)について、レビューすることが望まれる。 非高齢者との比較は行ったのか？ =&gt; 今後の課題としたい。 認知症に関する知見は得られたか？ =&gt; 今後の課題としたい。 意識の差はあるのか？ =&gt; 今後の課題としたい。</p>
	<p>(102) 境沢徳人 (北海道大学大学院) : 『因子分析を用いた高齢者の交通利用意識に関する研究』</p> <p><u>論文概要</u> 高齢者交通事故の多発地域での要因分析の一環として、その地域での高齢者行動や意識の分析</p>

### 討議概要

高齢者行動の特徴はあったか？ 特に地域差はあったか？

小樽地域に限ったことではないと思われる。地域の交通環境に起因する制約条件や選択自由の無さから出た結果ではないのか？

マスタータでは具体的な対策が出せないか？ => 今後の課題としたい。

文章の意味（文脈）で分析したか？ => 分析していない。単語の抽出のみ。ただし、同意単語は補正した。

自由記述欄と他の項目との関係性は？ => 今後の課題としたい。

項目は定量化したか？（定量化手法があるのでそれを活用してはどうか？） => 今後の課題としたい。

分析方法になにか工夫は？ => 今後の課題としたい。

因子分析を用いた意図は？ => 今後の課題としたい。